

<学校名> 羽生市立井泉小学校
<所在地> 羽生市藤井上組270
<電話> 048-565-2023
<本事例の特徴>

本校は、総合的な学習の時間（3年生）に「〇〇先生の生まれた国はどんなところ」の学習を行う。「英会話で親しもう」で一緒に学習している、ALTの先生の生まれた国について教えてもらう。教えてもらったことをもとに、自分がさらに調べたいテーマを決める。調べたことを工夫してまとめ、発表会を行う。発表会には、ALTにも参加してもらう。

<具体的な取組や成果>

○総合的な学習の時間の「国際理解教育」（3年生）

・ALTに祖国（ペルー）の自然や文化、生活の様子について紹介してもらう。児童が興味をもてるような内容にするため、ALTと事前に打ち合わせをし、どのようなことを児童に話してほしいかを伝えておく。児童がよく知っているALTから話を聞くことにより、児童が興味・関心をもつことができる。話を聞いた後、その国について話し合うことで、児童自身のテーマを明らかにできるようにする。調べたことの発表会でも、ALTに参加してもらい、感想を述べてもらう。

○児童の感想より（一部）

ペルーの遺跡の話が一番心に残りました。高い山の上にあるマチュピチュ遺跡に行きたいです。ナスカの地上絵も不思議だと思いました。ペルーの昔の人はどうやってつくったのだろうと思いました。

ペルーでは、トウモロコシやじゃがいもなどをたくさん作り、食事でも多く食べるそうです。日本では食事でお米を食べるので、そこがちがうと思いました。ペルーの料理の作り方を教えてもらったので、ぼくも作ろうと思いました。

○いつも親しんでいるALTから話を聞くことで、ペルーに興味・関心をもち、調べ学習を行っていた。わからないことがあると、ALTに質問をし、調べ学習を進めることができた。

○「ALTの先生に発表を聞いてもらおう」という目的をもち、まとめ方を工夫したり、何度も発表練習をしたり、一生懸命に取り組むことができた。

○ALTが祖国ペルーに誇りをもち、大切に思っていることが児童に伝わった。日本と違う文化をもったペルーに興味をもち、いろいろな外国に目を向けていこうとする気持ちをもつことができた。